



岩五だより



令和6年9月2日

「さあ、二学期です」

処暑の候、本校関係者の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと思います。9月に入りましたが、とにかく連日暑すぎる日々が続いています。また、台風の発生頻度と影響があらゆることに影響してくるようになりました。近頃の台風は、発生の時期が以前に比べて早く、回数が多く、威力が大きいと感じます。被害に遭われた方や、親戚や友人が被害に遭われたという方もいらっしゃるかもしれません。心よりお見舞い申し上げるとともに、少しでも早い復旧ができますことを願っています。

さて今回の夏休みは、暦の関係で、最大44日間という長いものでした。夏休みに入っすぐに、2年生との林間学校がありました。埼玉県秩父方面にて行いました。木々の緑が大変多く、自然に触れる体験活動を通して、自立心を養い、集団生活によって健全な心身の形成の一助とし、中学生として豊かな心を育むことを目的として実施しました。その中で、長瀬でのラフティングを生徒たちと一緒に体験することができました。大きなゴムボートでライフジャケットを身に着け、一艘に船頭兼インストラクターが同乗して川を下っていきます。なんと下る川は、我々が普段近所で目にしていないなじみ深い「荒川」の上流です。とても見慣れている荒川とは思えないくらい、川幅は狭く谷が深く急流で、川底が見えるくらいきれいな流れのところもありました。少しドキドキするようなスリルとインストラクターの方の掛け声でチームが一丸となってボートを動かしている感覚は、とても新鮮なものでした。また、体験している生徒たちの笑顔が、秩父の自然にとっても溶け込んでいたことが印象に残っています。

このような体験活動で感じた自然と湧いてくる喜びを、2学期の自分の日常生活において困難な場面に出会ったときに思い出せるといいなと思います。

また、夏休み期間に多くの運動部においては、夏季大会を最後に区切りを迎える3年生の姿があります。それぞれの競技に取り組み、自分の精一杯を出そうと頑張った3年生から感動をもらっています。9月に入っすぐの修学旅行（金沢・京都方面）を終えたら、季節は巡り、必ず秋がやって来ます。自分を深く見つめなおし、自分で考えた進路に向かって進んでいくこととなります。中学校生活の最後の総仕上げの準備期間が、これから始まる2学期となります。小岩五中の最上級生として、どのように過ごしていくのかを考えながら学校生活に取り組んでいくことを教職員一同、心より応援と期待をしています。3年生が姿と心で語れる存在であることは、後輩たちにとっても頼もしく誇らしい気持ちになります。そのことを胸において、本気の学校生活になるよう一緒に頑張りましょう。

1年生は、初めての中学校の夏休みは、どのように感じたでしょうか。小学校と違い、慣れない環境で1学期を過ごすことは、大変だったと感じる人もいることでしょうか。夏休みは、少しゆっくりした気持ちで生活できていればと思います。しかし、始まりがあれば終わりもあります。夏休みは終わります。また中学校生活の日常のスタートです。成功や失敗を繰り返しながら、確実に中学生らしくなっていきます。わからないことをそのままにするのではなく、解決のヒントを見つけるために行動できる2学期になるようにしていきましょう。

江戸川区立小岩第五中学校
校長 前本 大智